

新小通信



2024年度 第5号

2024（令和6）年8月29日
富田林市立新堂小学校

TEL 0721-24-3102

新堂小HP→



平和について考える

校長 高垣 政志

「平和」ってどんな時のことを言うのでしょうか？「戦争がない時」であることは言うまでもありません。しかし、「戦争がない時」だけで、人びとは本当に「平和」なののでしょうか？

「平和」とは、「直接ふるう暴力だけではなく、貧困、飢餓、差別、偏見、搾取、格差がないこと」と言われています。人が人らしく当然のように生きていけることだということです。毎日毎日を「人としてあたりまえのように生活」できる状態です。戦争はそれをめちゃくちやにします。でも、戦争になっていなくても「あたりまえの生活」ができていなければ、平和とは言えません。

今の日本は平和なののでしょうか？みんなが安心して「人としてあたりまえの生活」を安心して過ごすことができていますのでしょうか？

8月6日のヒロシマ平和記念式典、9日のナガサキ平和祈念式典にはロシアが招待されませんでした。ナガサキではイスラエルも招待されませんでした。イスラエルが招待されなかったことに対して、いくつかの国が式典に参加しませんでした。平和を願い、祈る式典に招待されない「仲間外れ」の国や参加しない国がいることに、「平和式典ってなんやろね？」と感じました。戦争で原爆を落とされた国だからこそ、戦争をしている国も呼んで、考えてもらうことが大切なのではないかなと思います。



9月、6年生はヒロシマ修学旅行に行き、平和について学びます。6年生の保護者の皆さんだけでなく、全学年の保護者の皆さんにも6年生が学んでくる「平和」の意味について子どもたちと

考えていただく機会となればと思います。